

費の値上げについて③資材価格の上昇による工事等への影響④本年度と来年度予算への影響

①現行予算枠を維持したい②食料の値上げが継続と現行の給食費では厳しくなりつつある③鋼材関係が10%程度値上がりし影響が出てきている④本年度では大きな影響は及ぼさない。来年度ではフレーム内での編成に努める。

須田 繁美

道路行政とまちづくりについて

①5月13日付読売新聞で、特定財源を維持すべきと

①5月13日付読売新聞で、特定財源を維持すべきと

①行政の長として判断を下している。②七差路部分について今年度測量、来年度から用地買収し、21年度にどこから着手していくかははっきりながら都に要請。

田辺 良彦

行政改革の取り組みの前進について

アクションプラン2007年度修正版では、今年度の経常収支比率は97.5%、実質公債費比率は17.7%を見

込んでいた。その後さらに改善が見込まれているが、現在ではどういう数値を見込んでいるか

①今回の見直しでは、20年度の経常収支比率は96.2%、実質公債費比率は16.9%を見込んでいる。

犯罪発生件数の減少について

市民の協力で、犯罪の少ないまちづくりが前進してきている。今年1月から3月までの刑法犯の認知件数について、人口当たりの比較で、狛江市は23区・26市の中でどういう位置にあるか。

犯罪発生件数の減少について

市民の協力で、犯罪の少ないまちづくりが前進してきている。今年1月から3月までの刑法犯の認知件数について、人口当たりの比較で、狛江市は23区・26市の中でどういう位置にあるか。

49区市中の多い順から数えて49位と一番少ない状況にある。

鈴木 えつお

特別支援教育の充実について

①特別支援教育の現状と到達点。②学校数に対する特別支援学級の設置率の全体的位置。③特別支援学級に通う子どもたちへの通学支援。④学校現場の要望も強い六小など南部地域への固定制の特別支援学級の開設について。

①市内3校に通級学級を設置。さらに必要な支援に向け努力する。②設置率は高い。③調査研究を行う。笑顔サービスは通学の支援が対象となっていない。サポート会員を確保することが難しい。④ある程度の見込みを持った上で判断する。

住居表示の改善について

新しく戸建住宅が建った所でその一画4軒が同じ住所になってしまった所があり、郵便物の誤配等の心配が出されている。①住居表示の仕組み。②現状の問題点について。③他の自治体の取り組み。④改善の方法と時期について。

新しく戸建住宅が建った所でその一画4軒が同じ住所になってしまった所があり、郵便物の誤配等の心配が出されている。①住居表示の仕組み。②現状の問題点について。③他の自治体の取り組み。④改善の方法と時期について。

①狛江市は街区方式で住居表示を決定。②同じ区画に何軒も家が建つ場合、同じ住居番号となるケースがある。③住居番号に枝番を付定。④他の自治体の例を参考に早期解消に向け努力。

宮坂 良子

安全な道路づくり、市道34号線拡幅整備について

34号線の拡幅整備は、安心して歩ける道路になるのでよかったという期待の声が寄せられている。①今後の計画は。②OKストアを残してほしいがどうか。③商店街のアーケードを残してほしいという要望がどうか。

①今年度慈悲医大の用地を取得する予定。その後順次用地取得を進め、23年度道路工事予定。②OKストアとの話し合いを継続していく。③現在のまま残すことはできない。新たに設置する場合は、商店街が設置管理すれば可能。



絵手紙発祥の地「狛江」の取り組みについて

絵手紙の魅力を通して狛江をアピール、市の活性化もしようとして「絵手紙発祥の地」の取り組みが進められているが①実行委員会を立ち上げ、どのようなことに取り組んでいるのか。②これからさらに盛り上げてほしいが、今後の構想は。

①昨年度は地域センター図書館に絵手紙コーナーを設置、絵手紙入りの名刺作成等。今年度は親子絵手紙サミット、街角ギャラリー等を開催予定。②絵手紙発祥の地のさらなる周知及び市外からの来訪者を含めた市全体の活性化。

西村 あつ子

妊産婦健診について

①公費負担が適用外の施設、助産院や指定医療機関外での受診状況は。②施設に

よって公費負担が受けられないのは不公平。里帰りや都外での受診についても無料健診が受けられるようにするべき。

①平成19年度の受診券交付件数693件のうち指定医療機関外での受診数は87件、助産院は0件。②平成20年度に回数増をしており、各市の動向を見ながら今後検討していきたい。

子育て支援の充実に

①猪方前原学童保育所の状況は。②放課後対策について、小田急ムックへの入所者も含め、利用時間のアンケート調査実施を。③小学生クラブ、放課後クラブの時間延長を。④紙おむつのごみ袋の枚数増の検討状況と見通しは。

①土地購入は難しい。継続期間を協議する。②認証保育所へは事業者に伝える。その他は実施する方向で考える。③小学生クラブは指定管理者と協議。放課後クラブは関係部と調整し対応する。④指定袋以外で紙おむつと明示する方法等検討。

藤田 鋭

指定管理者制度について

①エコルマホールについて、指定管理者の指定の見直しに当たって留意しているポイントは何か。②また、体育施設については、しっかり管理

できる事業者が選定されること重要だが、重視しているポイントは何か。

①「音楽の街」狛江構想についての取り組みによる地域への貢献や市民活動の活性化。②公共サービス事業へのビジョンと計画内容及び利用者本位のサービス提供。

田中 智子

放置自転車対策について

①駅前放置自転車の現状と市の認識は。②今後とも駐輪場の整備が必要。今後の整備計画は。③市民意識の啓発のためにも転入時駐輪場マップの配布を。④自転車駐輪場対策に関する総合計画をつくるべきと考えるがどうか。

①4月が乗り入れ台数に對し25%の放置があり、歩行者の通行障害等の弊害があると認識。②機械式地下駐輪場の設置を含め検討。③検討していく。④実現可能な計画を今後検討していく。

むいから民家園の運営について

①むいから民家園は年間2万人もが訪れる狛江の貴重な文化財。建物の維持管理の状況は。②屋根の一部に萱の崩れが見られるが、修繕の計画は。③長屋門復元工事の今後の予定は。

①指定管理者との協定の中で修繕1件20万円未満は指定管理者が行い、1件20万円以上は市が行う。②下屋と壁の接合部分の修繕とあわせて来年度予算の中で調整していきたい。③本年7月着工、平成22年1月中旬完成予定。

石川 和広

コミュニティバス運行事業の計画について

①市民の側からみたコミュニティバスとして、運行の要望に関する数値的なデータはあるのか。また潜在的な需要をどのような手法で把握しているか。②これまで無料の福祉バスを利用されていた方に対し、運賃の免除・減免は。

①データはないが、各種調査の自由意見の中で要望があった。需要については、經由する施設の利用者を各1、2人と想定。②福祉バス利用者の調査をし、免除もしくは減免の方法を検討していく。

市長の計画行政について

アクションプラン人事給与制度の目標管理制度において、平成19年度は係長以上の158人に実施され、本年4月1日からは全職員に実施されている計画だが、目標管理制度の実施についての総括と留意点は。